

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」会派室

自宅 042-795-7361



FAX: 042-795-2726

町田市の公共施設の再開時期

国の緊急事態宣言が当初の予定より早期に終了し、5月25日に解除されました。それなのに、町田市公共施設の再開時期（概ね、6月8日頃）の遅れがあり、同じ会派の小関議員の一般質問でその経緯が明らかになりました。私にも、こうした問い合わせやクレームが複数あり、関心が起きていたものです。答弁によると、東京都のロードマップにより、町田市公共施設の再開時期を5月末から1週間後に決めていた。その理由は、事前の周知期間が利用者に対して必要と考えたこと、あるいは、指定管理の施設で、オープン前の清掃などで人員確保が必要になることを考えて今回の開始時期になったと答えました。

東京都内の自治体では、町田市の遅れが目立ったものでした。最終の質問に対しての答弁では、今後は今回の経験を踏まえ、今後の事態では再開時期を検討したいとのことでした。*もちろん、第2波、第3波の到来を誰しも望んでいないのは当然のことです。



*閉館中の町田市立金森図書館：都営住宅に隣接した建物であり、鉄筋一部2階建の建物

町田市は中核市になるのを嫌がっている

「町田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例」が提案され、質疑をした上で賛成しました。内容的には、全会一致の案件でした。内容は、厚生労働省令の改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件となる研修に関するもので、従来、都道府県知及び、指令指定都市の長に加え、中核市の長が実施する研修も加えられました。



*町田市議会は、臨時市議会以降は、傍聴席を議員席の一部にし、議場の分散配置状態。

町田市は、この中核市に要件は十分に満たしている（法定人口が20万人以上）のですが、これまで中核市に移行していません（一般市と言います）し、今の市政ではそれになる考えもありません。その結果、このように条例改正を行っても、町田市民は都道府県（東京都等）や政令指定都市（横浜市、川崎市、相模原市など）で研修を受けるしか無かったのですが、お隣の八王子市などの中核市でも受けるようになったものです。なお、町田市内では東京都が研修を実施していないこともわかりました。この資格がないと、「放課後児童準支援員」にしかたれません。

★ 政党無所属で市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

連絡先 〒194-0011 町田電卓市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 3期連続トップ当選

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



ホームページ ブログ
最新記事をそれぞれ
に掲載しています



インターン生と研修中

コロナ対策費用増大と議員の有るべき姿

この間、国政も地方自治体もコロナウイルス感染症拡大防止、そして生活・経済安定の視点から大きな追加の補正予算が生まれ、議員も総じてそれに賛成しています。

この事態に関して、行政のトップや議員がどうあるべきかをそれぞれの地方自治体で問われています。市長等の首長、議員がその給与・報酬、あるいは期末手当を削減する議案や予算案を各地の自治体が決定しています。

町田市議会には、その市長・議員に対して身を切る措置を求める住民請願が提出され、保守の会議員で提出署名をしていましたが、審査した総務委員会では、あっさり、保守の会議員を除いて「反対多数」で決したとのことでした。本会議でも不採択でした。

町田市議会は、今年度の政務活動費を議員提出議案で半減（全会一致で可決）したので、報酬や期末手当を削減する必要がないという見解にもとづくものかもしれません。私は、それらの見解を明らかにしたいとの思いで、自民党の幹事長に第2、第3の提案はあるのかと尋ねましたが、あっさりと、「今回はこれだけ」と返されています。安易に、それで済ませられるものではないと思っています。



本会議場で議論



質問者は、質問席に移動して質疑を行います

夏の行事は軒並み取り止めに

コロナウイルス感染症が猛威を振るい、その懸念が一扫されず、国内では、地元東京がその後も一番感染者が発生しています。

そのために、市内でも大半の施設が休止となり、市民の使用ができなくなっていました。施設は徐々に再開されていますが、それらを使った様々の行事が中止になっています。それだけでは終わらず、文化・スポーツ行事においては先の予定まで取り止めになっています。さらに、各地の夏祭りも今年は中止が決定しているようです。



町田市の行事や訓練で、梅雨時期の前に行われる水防訓練も無く、また秋の防災訓練も実施されないでしょう。それは、こうした大規模訓練を行うための事前の打ち合わせの会合を開催することが難しく、そこでそれらが中止となっていくためからです。残念なことであり、代替え手段は無いものかと考える次第です。

災害の形態は様々にあり、そのために毎年、大規模な一斉訓練が行われてきましたが、今年は特に「密集を避けた災害避難」とはどういうものかの議論があるべきですが、それすら難しくなっています。せめて、上記のミニ研修会の機会が設定されるべきでしょう。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です

★ 大学生の目標・希望にそって、議員と一緒に研修・調査するプログラムで社会勉強。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。